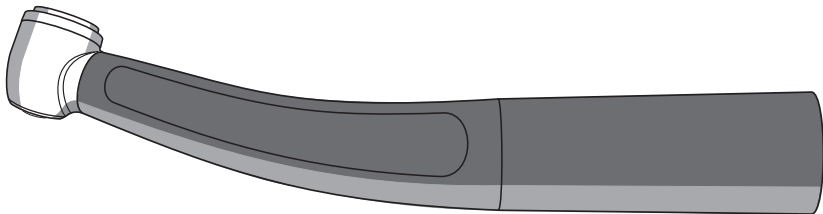


BA ULTIMATE

BA695 歯科用ガス圧式ハンドピース



BA688



日本語

取扱説明書

目次

| | | |
|-----|--------------------------|----|
| 1 | ご使用前に..... | 5 |
| 1.1 | 本書の構成..... | 6 |
| 1.2 | 耐用年数..... | 9 |
| 2 | 使用上の注意..... | 10 |
| 3 | 技術仕様..... | 12 |
| 3.1 | タスク..... | 12 |
| 3.2 | BA ULTIMATEの略図..... | 13 |
| 3.3 | 技術データ..... | 14 |
| 3.4 | 使用できるタービンのカップリングタイプ..... | 17 |
| 3.5 | 製品データ..... | 18 |

| | | |
|----------|-----------------------------|-----------|
| 4 | 使用前の事前準備 | 19 |
| 4.1 | 初回の始動時および長期間使用しなかった場合 | 19 |
| 4.2 | 毎日の診療前 | 19 |
| 4.3 | 患者が変わるたびに | 20 |
| 5 | 操作 | 21 |
| 5.1 | タービンの交換 | 22 |
| 5.2 | バーの着脱 | 25 |
| 5.3 | 冷却スプレーの調整 | 27 |
| 6 | 使用後の再処理 | 29 |
| 6.1 | 治療終了ごと | 29 |
| 6.2 | 1日の診療終了後 | 30 |

| | | |
|-----|------------------------|----|
| 7 | 再処理 | 31 |
| 7.1 | 事前消毒 | 31 |
| 7.2 | 自動洗浄機での消毒 | 32 |
| 7.3 | 手作業での洗浄・消毒 | 34 |
| 7.4 | 手作業によるメンテナンス..... | 36 |
| 7.5 | 滅菌..... | 42 |
| 8 | メンテナンス | 45 |
| 8.1 | FGチャックシステムのテスト..... | 45 |
| 8.2 | ハンドピースのハロゲンランプの交換..... | 47 |

1 ご使用前に...

BA ULTIMATEタービンは最先端技術の規定に適合しています。
ULTIMATEタービンはISO 14457、ISO 9168規格に準拠しています。

製品に接続するユニットは、IEC 60601-1の要件に適合していなければなりません。

1. BA ULTIMATEタービンを使用する前に、本取扱説明書をお読みください。
2. BA ULTIMATEタービンは、取扱説明書に記載された用途以外には使用しないでください。
3. 使用する国でBA ULTIMATEタービンに適用される衛生基準、労働安全規則、事故防止策に従ってください。

BA ULTIMATEタービンは歯科疾患や歯科外傷の治療に使用します。

使用目的

禁忌事項

対象者

歯科治療には、回転運動による硬質・軟質歯質および補綴物（クラウン、充填材、ブリッジなど）の処置を伴います。

なし

本製品は、歯科医療専門家による使用のみを目的としています。

1.1 本書の構成

1.1.1 情報表示

警告

➤ 傷害事故を防ぐために、すべての警告に従ってください。

警告表示の意味は、次のとおりです。

⚠ **危険！** この表示は、死亡事故または重傷事故につながる危険を示しています。

⚠ **警告！** この表示は、死亡事故または重傷事故につながる可能性のある危険を示しています。

⚠ **要注意！** この表示は、けがをする可能性がある危険を示しています。

使用上の注意

- 物的損害や追加費用の発生を防ぐために、使用上の注意に従ってください。

使用上の注意は次のように表示されます。

注意！ 物的損害を防止する対策を示しています。

重要: 追加費用の発生を防ぐための情報およびその他の重要な情報を示しています。

ヒント: 作業に役立つ情報を示しています。

1.1.2 表記と記号

本書で使用する表記と記号の意味を次に示します。

| | |
|---|------------------------|
| ✓ 前提条件 1. 最初に実行するステップ 2. 次に実行するステップ または ➤ その他の方法 ✎ 結果 ➤ 個別の実行ステップ | ユーザーの作業を示します。 |
| 表記と記号の使用 [→ 8] | 参照する項目と関連するページ番号を示します。 |
| ● リスト | リスト項目を示します。 |

1.2 耐用年数

使用目的に従って使用した場合:

- 非可動部品の標準的な耐用年数は約5年です。
- 可動部品の標準的な耐用年数は約3年です。

使用方法、滅菌頻度、メンテナンス頻度によって摩耗する時期が異なるため、ここでは保証請求を推測できません。

Oリングなどのラバーパーツは、摩耗の程度に応じて交換してください。

毎月1回、FGバーのチャックシステムを点検してください。

[→ 45]

ユーザーの義務

感染および二次感染の予防

2 使用上の注意

- 技術データに記載された規格 [→ 14]から逸脱しない、完全な状態のバーを使用してください。
- 装置使用者、患者および第三者を危険から保護するために、安全情報に従ってください。
- 装置の使用目的に従ってください。
- 取扱説明書は、いつでも参照できるように、手の届く場所に保管してください。

患者、ユーザーおよび第三者間の二次感染を防ぐために、患者の治療終了ごとに、器具を滅菌してください。

保護手袋を着用するなど、適切な衛生対策を実施してください。

動作不良または損傷

動作不良、異常な音、損傷がある場合は、ただちに使用を中止してください。損傷したタービンを使用すると、けがをするおそれがあります。販売店またはメーカーに連絡してください。

爆発の危険性 修理

本製品は、爆発の危険のある場所では使用しないでください。
独自にタービンの修理をしないでください。

BAインストゥルメントは精密機器です。機器の分解は**必ず**承認されたサービスエンジニアに依頼してください。整備または修理の場合は、インストゥルメントを組み立てられた状態のままでB.A. International Ltd.または、B.A. Internationalが承認したサービスセンターに送付してください。

予備部品および付属品

必ず、メーカーが製造した純正部品を使用してください。

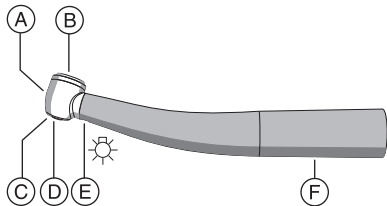
不明な点は、販売店またはメーカーにお問い合わせください。

3 技術仕様

3.1 タスク

BA ULTIMATEタービンは歯科用FGバーの駆動に使用します。
エアーや水が供給されるホースをクイックカップリングで接続すると、ハンドピースを自在に回転させることができます。

3.2 BA ULTIMATEの略図



| | |
|---|-------------------|
| A | タービンヘッド (Power) |
| B | プッシュボタン |
| C | 冷却スプレー噴射口 |
| D | バー挿入口 |
| E | ライトガイド |
| F | ハンドピーススリーブ |

3.3 技術データ タービン

| | | BA695 | BA688 |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 使用可能なヘッドのサイズ: | | | |
| | Power | 22W以下 | - |
| | ミニ | - | 19W以下 |
| ライト機能 | | ○ | ○ |
| ヘッドハウジングのサックバック防止機構 | | ○ | ○ |
| 水噴射領域の吸い戻し防止弁 | | ○ | ○ |
| プッシュボタンカバーによるチャックシステム | | FG | FG |

タービンヘッド

| | POWER | ミニ |
|----------------|------------|------------|
| 無負荷回転数 (rpm) | 360000±10% | 400000±10% |
| 最大トルク (Nmm) | 2.0以内 | 1.6以内 |




FGバー



| | POWER | ミニ |
|--------------------------|-------------|-------------|
| シャンク規格 | ISO1797-1 | ISO1797-1 |
| シャンク径 (mm) | 1.59 ~ 1.60 | 1.59 ~ 1.60 |
| 最大全長 (mm) | 25 | 21 |
| バー最大径 (mm) (ISO2157) | 2.1 | 2.1 |

使用環境

| | BA ULTIMATE |
|--------------------------------|-------------|
| 駆動エア一圧 (バール) (注水、乾燥、清掃) | 2.7 |
| エア一消費量 (NI/分) | 44±5 |
| 戻りエア一圧 (バール) | 0.3以下 |
| スプレーエア一圧 (バール) | 2.7以内 |
| エア一噴射流量 (リットル/分) | 2.5以上 |
| スプレー水圧 (バール) | 2.5以内 |
| 噴射水量 | 50ml/分以上 |

3.4 使用できるタービンのカップリングタイプ

| | 使用可能なカップリングタイプ |
|--|----------------------------------|
|  | R/Fクイックカップリング (デンツプライシロナ) |
|  | Multiflex LUXクイックカップリング (KaVo) |
|  | ROTO QUICKクイックカップリング (W&H) |

| | 使用可能なカップリングタイプ |
|--|---------------------------------|
|  | Unifix Lクイックカップリング (Bien-Air) |
|  | PTLCLクイックカップリング (NSK) |

3.5 製品データ

HSI HIBCコード

H658 M 675LN 1 / \$ S 07 00001

(A)

(B)

(C)

| | |
|---|---------------------|
| A | 製品表示コード (675LN 1) |
| B | 製造年 (2007) |
| C | シリアル番号 (00001) |

4 使用前の事前準備

4.1 初回の始動時および長期間使用しなかった場合

- ✓ タービンは、指定された動作圧で設定されている [→ 14] 場合のみ、最大限の能力を発揮します。必要に応じ、サービスエンジニアによる、ホースとクイックカップリング間の供給圧の確認を実施してください。
- タービンと付属品は、使用する前に必ず滅菌してください [→ 42]。
- 長期間使用しなかったタービンは、使用する前に清掃と注油を実行してください。

4.2 毎日の診療前

- 冷却スプレーを30秒間噴射し、給水経路とエア一経路を洗浄してください。

4.3 患者が変わるたびに

1. 冷却スプレーを30秒間噴射し、給水経路とエア―経路を洗浄してください。
2. タービンを取り付けます [→ 22]。
3. バーを挿入します [→ 25]。
4. 冷却水の水量を設定します (50ml/分以上) [→ 27]。
5. 必ずろ過した水 (ろ過精度50µm以下) を使用してください。
6. ノズルの石灰質などの詰まりや固着を確認してください。必要に応じて、ノズルを清掃してください。

⚠ **要注意！** 冷却が不十分な場合、形成部位が高温になり、歯質を損傷させます。注水量が50ml/分以上であることを確認してください。

5 操作

⚠ **要注意！** 冷却が不十分な場合、形成部位が高温になり、歯質を損傷させます。注水量が50ml/分以上であることを確認してください。

⚠ **要注意！** 絶対に、患者の頬にハンドピースを接触させないでください。プッシュボタンが誤動作し、患者の口腔粘膜が火傷するおそれがあります。

重要: 各種プレパレーションツールの使用方法および動作データについては、メーカーが提供する情報を参照してください。

5.1 タービンの交換

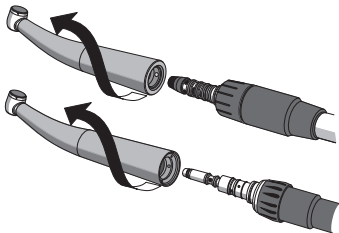
⚠ **要注意!** タービンの作動中は、ハンドピースを絶対に取り外さないでください。

5.1.1 タービンのデンツプライシロナまたはKaVo接続部への着脱 タービンの取り付け

➤ タービンを、カチッと音がするまで挿入します。

タービンの取り外し

- ✓ タービンが停止状態であること。
- クイックカップリングとホースナットをしっかり持ち、タービンを少し回しながら取り外します。このとき、供給ホースを引っ張る、または握らないでください。



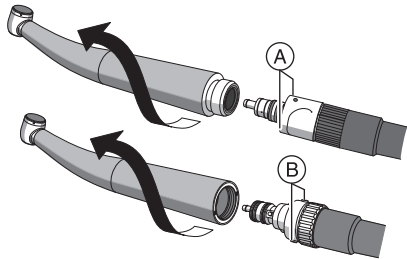
5.1.2 タービンのW&HまたはBien-Air接続部への着脱

タービンの取り付け

- タービンを、カチッと音がするまで挿入します。

タービンの取り外し

- ✓ タービンが停止状態であること。
- W&Hクイックカップリングのマーク (A) またはBien-Airクイックカップリングのプッシュボタン (B) を押し、タービンを少し回して取り外します。このとき、供給ホースを引っ張る、または握らないでください。



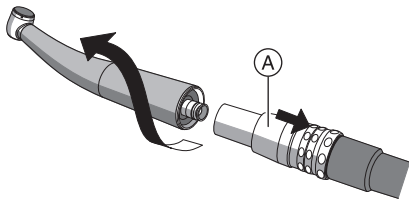
5.1.3 タービンのNSK PTLCL接続部への着脱

タービンの取り付け

- タービンを、カチッと音がするまで挿入します。

タービンの取り外し

- ✓ タービンが停止状態であること。
- クイックカップリングのスリーブ (A) を、供給ホースの方向に動かしてください。このとき、供給ホースを引**っ張る**、**ま**たは**握らない**でください。

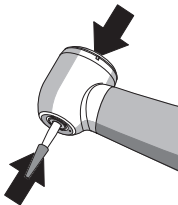


5.2 バーの着脱

重要: プッシュボタンが自由に動くことを確認してください。

注意! 鋭利で損傷していないバーおよびダイヤモンド研磨材のみを使用してください。チャックシステムにゴミなどが混入しないように、バーおよびダイヤモンド研磨材に汚れがないことを確認してください。

⚠ 要注意! バーが確実に固定されていないと、ヘッドから外れ破損します。その結果、怪我をする恐れがあります。タービンを使用する場合は、バーを10mm以上の深さに挿入し、しっかり固定してください。

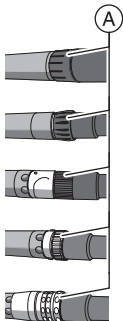


FGバーの挿入

- ✓ タービンが停止状態であること。
- 1. プッシュボタンを押し、バーを止まる位置まで挿入します。
- 2. バーを引っ張り、しっかり固定されていることを確認します。

FGバーの取外し

- ✓ バーが停止していること。
- ボタンを押した状態で、バーを取り外します。



5.3 冷却スプレーの調整

- 調整リング (A) を使用して、冷却水の流量を50ml/分以上に調整します。

ヒント: 冷却水は、計量カップと時計を使用して測定できます。

流量

R/Fクイックカップリング (デンツプライシロナ): 調整リングをカチッと音がする位置で止めると、最大流量に設定されます。

Multiflex LUXクイックカップリング (KaVo): 2つのマークを合わせると、最大流量に設定されます。

W&Hクイックカップリング: 赤色の線と赤色のドットを合わせると、最小流量に設定されます。

調整リングを左右に回し、最大流量にします。

Bien-Airクイックカップリング: 調整リングを停止するまで右に回すと、最小流量に設定されます。

調整リングを停止するまで左に回すと、最大流量に設定されます。

PTL CLクイックカップリング (NSK) : 調整リングをカチッと音がする位置で止めると、最大流量に設定されます。

6 使用後の再処理

6.1 治療終了ごと

注意！ 治療後はできるかぎり速やかに（治療後1時間以内）洗浄・消毒をしてください。

- ✓ バーが停止していること。
- ✓ 適切な保護服を着用していること。
- 1. 冷却スプレーを30秒間噴射し、ユニットの給水経路とエア－経路を洗浄します。
- 2. ピンセットを使用してバーを取り外します。
- 3. ユニットで事前消毒を実施します。 [→ 31]
- 4. タービンを取り外します。
- 5. タービンを適切な容器に入れ、洗浄する場所まで運びます。

6. 自動洗浄機または手作業で洗浄および消毒します。手作業で洗浄 [→ 34]する場合は、国内または地域の規制に準拠してください。
7. タービンにスプレーで注油します [→ 36]。
8. タービンと付属品を滅菌します [→ 42]。

6.2 1日の診療終了後

- タービンに注油します [→ 36]。

7 再処理

7.1 事前消毒

- ✓ 適切な保護服を着用していること。
- ✓ 使用する消毒剤は国の認可を受け、殺菌性、抗真菌性、殺ウイルス性が証明されていること。タンパク質を固着させない消毒剤のみを使用していること。
- 1. 表面に消毒剤をスプレーします。
- 2. 消毒剤を布で拭き取ります。
- ☞ 処理を進めるには、タービンが乾燥し、残留物がないことを確認してください。

インスツルメントの消毒剤を使用する場合は、メーカーの指示に従ってください。



7.2 自動洗浄機での消毒

注意！ クイックカップリングは**自動洗浄**しないでください。

洗浄消毒機には、EN ISO 15883-1 (95°C、保持時間10分など) に適合し、メーカーが歯科用インスツルメントの洗浄および消毒用として承認している装置を使用する必要があります。

詳細は、自動洗浄機に付属する取扱説明書を参照してください。

- ✓ BA ULTIMATEが洗浄・消毒装置で処理されていること。
- 1. 演色評価数80Ra以上、500ルクス以上の適切な光源の下で、洗浄・消毒処理後のBA ULTIMATEに汚れがないことを確認します。
- 2. 汚れがある場合は、洗浄・消毒処理を繰り返します。
 - ↳ さらに処理をする場合は、BA ULTIMATEが乾燥し、残留物がないことを確認してください。
- 3. BA ULTIMATEに3パール以下のエアを吹き付けます。
- 4. 手作業で機構部に注油します [→ 36]。

5. 手作業でプッシュボタン式チャックのメンテナンスを実行します [→ 39]。
6. 紙やプラスチックの複合容器など、滅菌や保管に適した包装材でBA ULTIMATEを包装します。
7. 滅菌処理を実行します [→ 42]。

7.3 手作業での洗浄・消毒

重要: 手作業で洗浄と消毒をする場合は、国内または地域の規制に準拠してください。事前に、国または地域の規制を確認してください。

注意！ 治療後はできるかぎり速やかに（治療後1時間以内）洗浄・消毒をしてください。

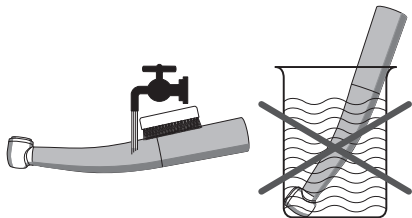
注意！ 超音波洗浄器で洗浄しないでください。

注意！ 消毒剤に浸漬しないでください。

注意！ 他のメーカーのスプレーを使用すると、製品の耐用年数が短くなる可能性があります。B.A. アルティメットスプレーのみ使用してください。

重要: 洗浄には、柔らかく清潔な滅菌済みブラシを使用してください。

✓ 適切な保護服を着用していること。



- ✓ 使用する消毒剤は国の認可を受け、殺菌性、抗真菌性、殺ウイルス性が証明されていること。タンパク質を**固着させない**消毒剤のみを使用していること。
1. 演色評価数80Ra以上、500ルクス以上の適切な光源の下で、流水（38℃以下、飲料水品質以上）を使用して、汚れがなくなるまで少なくとも10秒以上タービンをブラシで洗浄します。
 2. B.A.アルティメットスプレーを1～2秒注油します。
 3. 製造メーカーの取扱説明書に従って、適切な洗浄剤（ALPRO[®]社製のWL Cleanなど）とアダプタを使用してスプレー管路を洗浄し消毒します。
 4. 完全に乾くまで、適切なアダプタで10秒以上スプレー管路に2.5～3パールのエアを吹き付けます。ALPRO[®]社製のWL-dryなどを使用できます。
 5. 熱消毒、または滅菌バッグをせずに蒸気滅菌します。
 6. 手作業で機械部分に注油します [→ 36]。

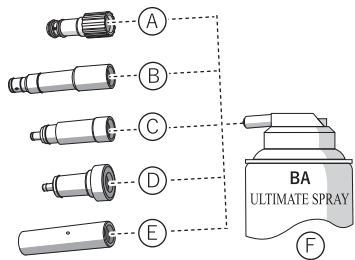
7. 手作業でプッシュボタン式チャックのメンテナンスを実行します [→ 39]。
8. 紙やプラスチックの複合容器など、滅菌や保管に適した包装材料でタービンを包装します。
9. 滅菌処理を実行します [→ 42]。

7.4 手作業によるメンテナンス

7.4.1 機械部分への注油

頻度

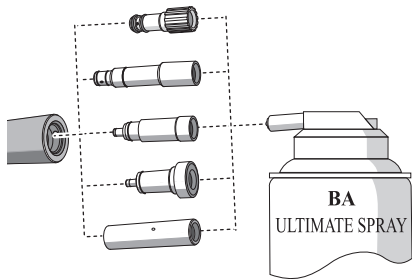
- 1日2回、午前と午後の診療終了時
- 滅菌を実行する前
- 全体のメンテナンスを実施しない場合、毎回の熱消毒後
- 使用時間が10分以上継続する場合



必要な付属品

- A デンツプライシロナカップリング用スプレーアダプタ
- B KaVoカップリング用スプレーアダプタ
- C W&Hカップリング用スプレーアダプタ
- D Bien-Airカップリング用スプレーアダプタ
- E NSK PTLCLカップリング用スプレーアダプタ
- F B.A. アルティメットスプレー

注意！ 他のメーカーのスプレーを使用すると、製品の耐用年数が短くなる可能性があります。B.A. アルティメットスプレーのみ使用してください。



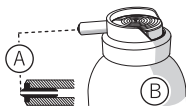
手順

- ✓ スプレーアダプタが消毒済みであること。
 - ✓ スプレーアダプタのOリングに損傷がないこと。
1. スプレー缶のノズルにスプレーアダプタを取り付けます。
 2. 所定の位置に固定されるまでタービンを挿入し、しっかり固定します。
 3. タービンの内部に1~2秒間スプレーします。
重要: スプレー缶は傾けないでください。
 4. 流れ出たスプレー液は、消毒済みの布で拭き取ってください。
 5. タービンから流れ出るスプレー液がきれいになるまで、手順を繰り返してください。

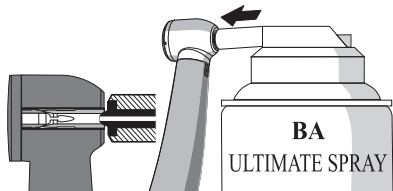
7.4.2 プッシュボタン式チャックの手入れ 頻度

- 週1回以上

必要な付属品



| | |
|---|------------------|
| A | 黒のノズルインサート |
| B | B.A. アルティメットスプレー |



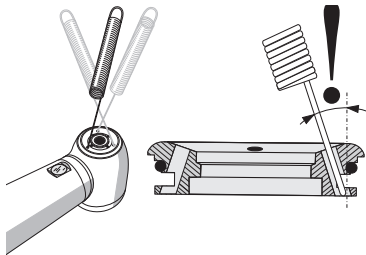
手順

- ✓ タービンの清掃と消毒が完了していること。
- 1. チャックを装着したタービンヘッドをスプレー缶のノズルに押し付けます。
- 2. チャックにスプレーを1~2秒間噴射します。
重要: スプレー缶は傾けないでください。
- 3. 流れ出たスプレー液は、滅菌済みの布で拭き取ってください。

7.4.3 冷却スプレーのノズル開口部の手入れ

硬水の場合、冷却スプレーノズルにカルシウムが沈殿し詰まることがあります。

1. ノズルの開口部にクリーニングワイヤーを挿入して、丁寧に清掃します。
2. 冷却スプレーをオンにして、タービンを短時間作動させます。



7.5 滅菌

頻度:

- 最初に使用する前
- 使用前ごと

手順

- ✓ タービンの清掃と消毒が完了していること。
- ✓ タービンの注油が完了していること。
- ✓ タービンは必要に応じて、紙やプラスチックの複合容器など、滅菌や保管に適した容器で包装し、滅菌することができます。
- 蒸気滅菌器にタービンを入れ、飽和水蒸気で滅菌します。



| | |
|-------|----------------------|
| 過圧: | 2.04バール (0.204MPa) |
| 温度: | 134 °C (274 °F) |
| 保持時間: | 3分 |

承認されている蒸気滅菌器とは、EN 13060のクラスBまたはクラスSの要件を満たし、かつタービンハンドピースの滅菌に適した機器を指します。

注意！ 乾燥サイクル中に、温度が140°C以上にならないように注意してください。

滅菌処理後

1. 蒸気滅菌器からタービンをただちに取り出します。
⚠ 要注意！ タービンは高温になっているため、やけどするおそれがあります。
注意！ 冷却時間を短縮するためにタービンを冷水に浸漬しないでください。冷水に浸漬すると、タービンが損傷します。

2. すべてのタービンは、雑菌が混入しないように保管します。
3. 保管期間が経過した場合は、再度滅菌してください。

8 メンテナンス

Oリングなどのラバーパーツは、摩耗の程度に応じて交換してください。

毎月1回、FGバーのチャックシステムを点検してください。

[→ 45]

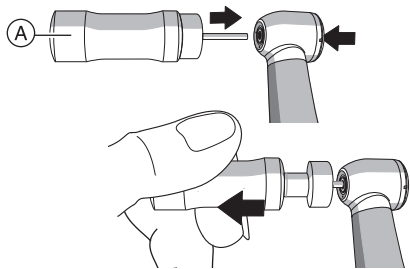
8.1 FGチャックシステムのテスト

頻度

FGチャックシステムは、少なくとも毎月1回テストしてください。

必要な付属品

チャックテスター



作業手順

✓ チャックテスター (A) の有効期限が切れていないこと。

1. チャックテスターをFGチャックシステムに挿入します
[→ 25]。
2. マーキングリングが見えるまで、チャックテスターを締め付けます (引抜力: 22N)。

マーキングリングが目視できる前に、チャックからチャックテスターが抜け出る場合

⚠ **要注意!** チャックに不具合があり、バーが確実に固定されていません。不具合により、けがをするおそれがあります。

1. この製品は使用してはいけません。
2. B.A. Internationalが認定した工場にチャックシステムの交換を依頼してください。

ヒント: 点検時期と結果の記録を保管してください。

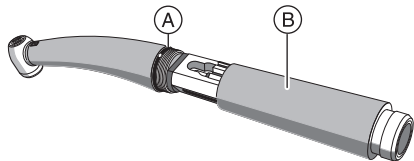
8.2 ハンドピースのハロゲンランプの交換

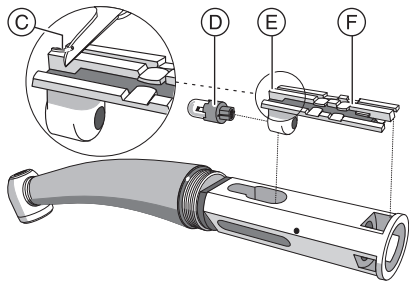
W&HまたはBien-Airカップリング対応のタービンの場合、ハロゲンランプはタービンハンドピースに内蔵されます。

W&Hカップリング付きタービン

△ 要注意！ ハロゲンランプは高温になっている場合があります。火傷をするおそれがあります。ハロゲンランプが常温になるまで放置してください。

1. クイックカップリングからタービンを取り外します。
2. ハンドピーススリーブの後尾部 (B) を回して取り外します。
3. Oリング (A) に損傷がないことを確認し、必要に応じて交換します。



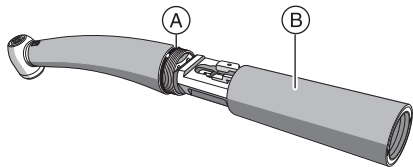


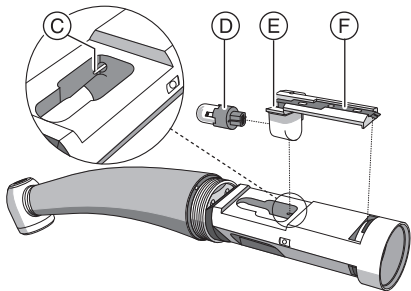
4. ヘッドエンド (E) でランプホルダー (F) を持ち上げ、取り外します。
5. 不具合のあるハロゲンランプ (D) を口金から取り外します。
6. 新しいハロゲンランプを挿入します。接触面の位置を確認してください。
7. きれいな布で電球を拭きます。
8. ランプホルダーを挿入します。
新しいランプホルダーを使用する場合は、挿入する前に小さなバー (C) を取り外してください。
9. ハンドピーススリーブの後尾部を戻し固定します。

Bien-Airカップリング付きタービンハンドピース

⚠ **要注意！** ハロゲンランプは高温になっている場合があります。火傷をするおそれがあります。ハロゲンランプが常温になるまで放置してください。

1. クイックカップリングからタービンを取り外します。
2. ハンドピーススリーブの後尾部 (B) を回して取り外します。
3. Oリング (A) に損傷がないことを確認し、必要に応じて交換します。





4. ランプホルダー (F) の隅 (E) を爪で引き上げて取り外します。
注意！ カップリング連結部でコンタクトピン (C) を曲げる、または損傷させないように注意してください。
5. 不具合のあるハロゲンランプ (D) をソケットから引き出します。
6. 新しいハロゲンランプを挿入します。接触面の位置を確認してください。
7. きれいな布で電球を拭きます。
8. ランプホルダーを挿入します。挿入するときは、コンタクトピンに注意してください。
9. ハンドピーススリーブの後尾部を戻し固定します。

Disposal

According to current information, the product does not contain any substances that are hazardous to the environment. The product must be sterilized prior to disposal. Please observe the applicable national regulations regarding disposal.

Descarte

Segundo o nível de conhecimento atual, o produto não contém substâncias nocivas para o meio ambiente. Antes do descarte do produto é necessário esterilizá-lo. Respeitar os regulamentos locais em vigor para proceder ao descarte.

İmha

Ürün, güncel bilgilere göre çevre için tehlikeli maddeler içermemektedir. Ürün, imha edilmeden önce sterilize edilmelidir. İmha sırasında lütfen geçerli ulusal talimatnameleri dikkate alın.

废弃处理

产品符合最新技术水平，不含任何危害环境的材料。废弃处理前必须对产品进行消毒。废弃处理时必须遵守国家现行规定。

廃棄

最新データによると、本製品には環境に有害な物質は一切含まれていません。製品を廃棄する場合は、滅菌処理をする必要があります。適用される地域の廃棄に関する条例を遵守してください。



We reserve the right to make any alterations which may be required due to technical improvements.

Reservamo-nos o direito de efectuar alterações no âmbito de um aperfeiçoamento técnico.

Teknik gelişmelerden kaynaklanan değişiklik yapma hakkı saklıdır.

保留科技发展过程中出现的更改。

技術的改良のため仕様を変更することがあります。



Consult
Operating
Instructions

D3560.201.09.04.09



Manufacturer



Date of
manufacture

04.2019



Can be
sterilized



Catalogue
number

Ä.-Nr.: 126 213



Serial
number



ATTENTION

CE
0476



B.A. International Ltd.
Unit 9, Kingsthorpe Business Centre,
Studland Road, Kingsthorpe,
Northampton, NN2 6NE
United Kingdom

Made in Germany

65 56 075 D3560